



離島における医師確保
のために、ご協力をお願い
します。



八重山地区医師会 会長
仲間 健二 先生

P R O F I L E

- 沖縄県立八重山高校卒業
- 岡山大学医学部卒業
- 昭和54年 総合病院岡山協立病院
- 平成5年 沖縄県立八重山病院
- 平成11年 石垣市立救急診療所
- 平成12年 仲間内科クリニック開業
- 平成17年 八重山地区医師会 会長 就任

この度は、お忙しい中、本会会報に掲載するためのインタビューをお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。

Q1.八重山地区の医師会もいよいよ結束力が強くなってきたと思われませんが、現在の医師会活動状況はいかがですか。

私は医師会に入会し、7～8年目ですが、会活動にあまり参加しない消極的な会員で、学校医の担当と予防接種、医師会定例会へ時々参加する程度でした。前会長が10年近く続けていましたが、体調をくずしたこともあり、八重山出身という事で私が会長職に就く事になりました。

八重山地区医師会は現在会員33人で、近年徐々に増加してきています（今年も加入の予定が複数あります）。法人化に向けて事務局が設置され、これまで一部の役員と家族に負担をかけていた事務等の作業が整理されました。学術担当とイベント担当を新しく副会長と理事にお願いし、会長の職務が軽減され、各種委員も会員の先生方に協力して担当して貰っています。医師会活動に積極的な参加を申し出る会員もいます。

定期の理事会を毎月第三火曜日に開催し、諸報告を受け、討議事項等に対応しています。その分、総会（全体の医師会）の機会が減り、新年会（三師会）、八重山病院との懇親会（6月）、

忘年会等がありますが、今後は、会員の意見を聞きながら機会を増やしていきたいと考えています。

平成18年12月1日に社団法人八重山地区医師会が認可されました。これで他の地区医師会と同様、組織力が加わり、活動がより体系化されることが期待されます。地域産業保健センターの業務も、法人化によって運営がスムーズになると思います。

Q2. 地区医師会は行政との関わりが大切ですが、住民検診や予防接種など石垣市との連携はいかがですか。

石垣市を中心とした行政との関わりは概ねうまくいっていると思いますが、更なる意思疎通の改善をはかる必要があると思います。

学校医、園医を会員が担当し、定期の集団予

防接種も小児科医を中心に毎月会員が参加しています。また、石垣島トライアスロン大会の際は八重山病院等の医師と協力して救護班を担当し、1月の石垣島マラソン大会には医療班として、また、その他各種スポーツ大会にも、会員が協力しています。更に、他の地区医師会と同様、各種委員会に医療関係委員としての役目を果たしています。介護認定審査会委員としても、委員長以下6名が参加し、地域産業保健センターにも医師会役員らが所長、副所長、相談医として担当しています。

住民検診に関しては、一次検診後のフォローアップは、各医療機関で行っておりますが、二次検診にも協力しています。その他、福祉施設等の嘱託医も会員が担当しています。

Q3.八重山地区も医師不足の中にありますが、県立病院との連携など課題を教えてくださいか。

八重山地区の医療を考えれば、基幹病院としての県立八重山病院の役割は極めて重要です。住民はできれば地域で完結する医療を望んでいますが、ご承知の通り、医師不足がいつも問題となっています。現在は産婦人科、脳神経外科の両科ですが、以前から耳鼻咽喉科等にみられた様に、専門医の欠員は常に内包されています。その都度、八重山病院の院長が奔走して対応していましたが、限界は明らかです。この度、県で病院事業局ができ、よい方向に動いているという印象はあります。

現在脳神経外科は会員（開業医）が頑張っていますが、交通事故等、複数科での治療が必要な場合、不具合がみられるようです。やはり八重山病院にも脳外科医が必要と思われま

す。八重山病院と医師会との連携としては、患者を通しての病診、病病連携が最も重要ですが、先年、地域連携室ができ、体制が整ってきています。その運営協議会が医師会委員との間に設けられ、活動を開始しています。また、新しい医局員との意思疎通をはかるため、毎年6月に懇親会を開いています。他に新年会（ゴルフ大

会含）、トライアスロン大会等を通して交流がありますが、今後とも、より一層の親睦をはかって行きたいと考えています。

さらに、ACLS訓練人形を医師会が購入し、八重山病院に貸与し、ACLSコースに利用してもらっています。医療関係者、地域住民に役立っていると思います。

Q4. 県医師会は八重山地区との密な連携をとり、地区の問題解決に努力していくつもりですが、県医師会に対する要望などありましたらお知らせ下さい。

遠路のため、各種会議に参加できず失礼していますが、県医師会との連携は大切なことと思います。

沖縄県の中でも、八重山は離島の離島です。八重山地区の医療には、中核病院たる八重山病院の医師の充足と、各離島診療所の医師の確保が肝要です。昨年、産婦人科医不足の問題時に、住民、行政、医療機関等が協力してシンポジウム及び郡民総決起大会が開かれました。しかし、八重山地区のみの運動では限界があります。他の県立病院、琉球大学、その他の大学などの協力が必要ですが、県医師会の後押しをお願いしたいと思います。

県医師確保対策検討委員会等、離島、へき地の医師不足解消を目指す動きが出てきています。その中で「沖縄県全体を一つの病院と考え、医師の配置を全体で考える」との意見が示された様ですが、県医師会も、その方向で対応して頂きたいと思います。

さらに、前会長からの要望でもありますが、離島医療における医師不足の解消のため、引退後のみならず現役の医師でも、離島勤務を希望する医師の情報を集めて、離島の医師会あるいは市町村へ情報を提供するシステムを作ったらいきたいと思っています。

Q5.趣味や座右の銘などをお聞かせ下さい。

座右の銘は特にありませんが、3~4年前に突然、脱毛症になり、カツラを使用しながら、

色々なことを考える機会がありました。そういう経験から、「人生には何でもあり」と思えるようになり、細かいことはあまり気にしない様にしようと思えるようにしています。それを機に、長年の懸案であった禁煙をすることができました。「人間万事塞翁が馬」という諺を身にしみて感じた次第であります。もちろん、「人事を尽くして天命を待つ」を心がけたいと思っていますが、なかなかうまくいきません。

特に趣味とよべるものはありませんが、週に二日、一人で晩酌することと、休日には好きな音楽を聴きながらGoogle Earthで世界中をパソコン旅行することを楽しみにしています。

本日は、お忙しい中、誠にありがとうございました。

インタビューアー：副会長 玉城 信光

お知らせ

日医白クマ通信への申し込みについて

さて、日本医師会では会員及び、マスコミへ「ニュースやお知らせ」等の各種情報をEメールにて配信するサービス（白クマ通信）をおこなっております。

当該配信サービスをご希望の日医会員の先生方は日本医師会ホームページのメンバーズルーム (<http://www.med.or.jp/japanese/members/>) からお申し込みください。

※メンバーズルームに入るには、ユーザーIDとパスワードが必要です。(下記参照)

不明の場合は氏名、電話番号、所属医師会を明記の上、info@mm.med.or.jpまでお願いいたします。

ユーザーID

※会員ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角で入力）。

日医ニュース、日医雑誌などの宛名シール下部に印刷されているID番号です。

「0」も含め、すべて入力して下さい。

パスワード

※生年月日6桁の数字（半角で入力）。

生年月日の西暦の下2桁、月2桁、日2桁を並べた6桁の数字です。

例) 1948年1月9日生の場合、「480109」となります。